

かしこく やさしく たくましく

【えがお あふれる 川東小学校】



川東小だより

「合い言葉」 「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ

第8号

平成29年12月14日
新発田市立
川東小学校**新年に向け自分をみつめ、希望を持ち「夢や目標」を描く冬休み！**

～新年も、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ～

校長 田中 範克

二王子山も雪化粧をし、平成29年から30年へと新たな年を迎える準備の時期となりました。2学期を振り返れば、様々な行事や活動がありました。子どもたちは、保護者の皆様や地域の皆様から温かく見守られながら、体験や活動を通して伸びやかに成長してきたと思います。心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ冬休みには新年を迎えます。日本には、お正月におもちを食べる習慣が伝統的にあります。餅(モチ)について調べてみますと、「モチ」は民俗学でいうハレの日(祝いの日)の食べ物で、稲作農耕の食文化の一つとして伝えられてきたそうです。

語源は、「長くもつ(保存食)」「もち歩ける」「形が丸く望月に通じるから」といろいろあるそうですが、穀霊の造形物であるとされ、「モチ」は神聖な力が宿る食べ物とされていたそうです。

また、「モチ」は「望」を意味することからも、「家族みんなが幸せで希望がかなえられるように」と、おもちをつき神仏にお供えするということでもあったようです。



お正月にはおもちを食べながら、新しい年への希望を描く…このことから、新年を迎える冬休みは、「夢や目標」を意識する絶好の機会でもあります。

希望をもち、「夢や目標」を描くには、自分のがんばりやよさを自覚することがベースとなります。特に、子ども時代は、自分に自信をもてるからこそ、未来を意識して希望をもつことができ、「夢や目標」を描こうという意欲が生まれやすいのです。

冬休みは、家族や親戚や地域の方など、様々な人とふれあう機会が多くあります。自分をよく知るためには、様々な人から、褒められ、自分のよいところを意識できることが大切です。他者から見た自分の「よさ」への自覚が、新たな自分づくりへとつながっていきます。

さらに、この冬休みは自分の「よさ」とともに、家族を含め自分とかわる様々な人の「よさ」に気づき、認め、伝え合う、素敵な休みになることを願っています。

自分だけでなくかわる人たちの「よさ」を自覚することでさらに自己肯定感が高まり、大きな自信が生まれます。その大きな自信こそが、新年への「希望」を生み出し、「夢や目標」に向かう架け橋になると思うからです。

いずれにいたしましても、いつも川東小学校の子どもたちを見守り、様々なご支援をくださっている保護者の皆様や地域の皆様。2学期も本当にいろいろありがとうございました。

冬休みは子どもの「よさ」を大げさにたくさん認めて褒めてあげるとともに、皆様の「よさ」を家族や地域で讃え合う、心温まる冬休みになることを願っています。

そして、おもちを食べながら楽しく、希望と「夢や目標」を語りあう、素敵な新年を迎えることができますよう、心より祈念いたします。

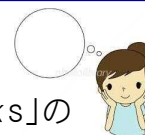


川小フェスティバル 12月1日(金)

児童会祭「川小フェスティバル」が行われました。3年生以上の学年によるアイデアいっぱいの出店が並び、全校縦割り班で各出店を回りました。各出店が手作りの楽しいお店になりました。



6年生 キャリア教育 12月4日(月)



未来に向かって、自分をみつめる授業として「NPO法人 みらいずworks」のみなさんに来ていただきました。自分のいいところを見つけたり、将来への夢を描いたりする貴重な時間となりました。



● 6年生の感想

未来はいつでも決められる。
今回の学習で未来をよく考えられたので楽しかった。いろいろな人の話も聞いてみたかった。

以前から、これからどうやって大人になるかを考えていた。今日の授業で、もっと考えることができ、未来に向けてがんばりたいと思った。

■新発田市立川東小学校■

1年生28名 2年生27名 3年生39名 4年生32名 5年生26名 6年生36名 188名(12/14現在)

☎ 957-0341 新発田市下羽津1938番地 Tel 0254-25-2009 Fax 0254-25-2911

http://kawahigashi-e.shibata.ed.jp

平成29年度第8号

◆川東小だより◆

平成29年12月14日